

Funehiki High School News vol.131

～がんばる船高生～
ATTENTION!

第 1 1 回 特設ドローン部 早川 帆南さん

▶ドローンを操作する早川さん(左)



平成 2 8 年 1 2 月、田村市と慶應義塾大学は、ドローンを利活用した研究・教育活動を推進し、地域復興に取り組むための包括的な連携協力協定を締結しました。この協定のもと、本校ではドローン特別講座が開講され、生徒がドローンの操作技術を身に付けるとともに、市内の各イベントでドローンを活用した活動を始めてきたところです。そして今年度、本校では新たに「特設ドローン部」を立ち上げました。そのメンバーの一人、早川帆南さん(2 年 大越中出身)に話を聞きました。

——これまでにの活動を振り返ってください。

私は 1 年生のときから、ドローン特別講座に参加しています。空撮班として、「ファントム」というカメラ付きの機種を用いて動画を撮り、編集も行ってきました。主に、高い位置から校舎や部活動の様子などを撮影しました。市のイベントの撮影を依頼されたこともあり、仲間と楽しく取り組んでいます。

また、私たち空撮班が撮影・編集した動画「Funehiki School Life」を You Tube にアップしました。ぜひ市民の皆さんに見てもらいたいです。

——ドローン空撮の魅力とは。

地上数十メートルの位置から空撮するので、いつもの風景が違って見えます。日頃見られない景色を目にすると感動しますね。ドローン操作では、思いどおりに動かないときや、周囲の障害物にぶつかりそうになるときがあります。でも、自分たちが満足できる動画を撮影できたときは、本当にうれしいし、やりがいを感じます。

——今後の活動予定を教えてください。

今まで同様に慶応大学の先生にご指導をいただきながら、各イベントの空撮やドローンのレースをしたいと思っています。さらに、ドローンは農薬散布や測量といった実用的な面でも活用されているので、そういったプロの技も学びたいですね。



◆恒例！ 片曽根山登山

5 月 2 5 日、抜けるような青空の下、1 学年の恒例行事「片曽根山登山」が行われました。

生徒たちは山頂までの道のりを楽しみながら、一方で登山道のごみ拾いも行いました。山頂ではドローンを飛ばしましたが、一緒に登山をしていた小学生に好評でした。



福島県立船引高等学校 Tel…0247-82-1511 Fax…0247-82-5233
H P …<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail…funehiki-h@fcs.ed.jp

田村見聞録



Timothy Case

ティモシー・ケイスさん

(アメリカ合衆国
ニューメキシコ州出身)

田村市に来て 1 年目

こんにちは。僕の名前はティモシー・ケイス。ティムって呼んでください。田村市の皆さん、よろしくお願ひします。

田村に来てまだ 3 カ月ですが、この短い間に 3 つのことに衝撃を受けました。

まずは自然の景観です。山々は巨人がまめに手入れした庭のようですし、花々や草木も明るくて幻想的です。桜は荘厳かつ魅惑的で、田園はまるで彫刻家が造ったかのようです。自然すべてが屋外の美術館のようですね。

次に、日本人の文化です。見ず知らずの人でも、毎日のように僕にあいさつしてくれます。近所や店の人も、日本語に慣れていない僕の話に辛抱強く聞いてくれます。学校でも、先生方の人格によるのでしよう、生徒はいつも笑顔



学校、道端で僕を見かけたら、ぜひ声をかけてくれませんか。僕はもっと知りたいのです。皆さんや田村のこと、そして皆さんが田村で楽しんでいることを。

で過ごしています。最後は食べ物です。僕の故郷は内陸の砂漠のような場所だったので、新鮮な魚があんなに美味しくないなんて初めて知りましたよ。お寿司が大好きになりました。お米そのものも、アメリカのより味があって驚きました。日本食は奥が深いですね。

田村の皆さん、お店や

海	を	越	え	て	英	語	指	導	助	手	ペ	ン	リ	レ	ー	No. 61
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

故郷と似たまち



Mekayla Morrison

マケーラ・モリスンさん

(アメリカ合衆国
ペンシルベニア州出身)

田村市に来て 1 年目

田村に来たとき、私はとてもうれしくなりました。自分の小さな故郷を思い出したからです。

私は小さな農村に住んでいました。そこには小麦やトウモロコシなどの広い農場があり、人々は一日中働きながら、勤勉で簡素な生活をしていました。

私の故郷は山々に囲まれていたので、いつの間にか静かで美しい自然が大好きになりました。近くの山々をよく登ったものです。

そんな私なので、部屋の窓から片曽根山を毎日眺めています。お気に入りの雨の日に霧で覆われた姿です。神秘的で、息をのむような美しさですよ。

山頂が雪で覆われた安達太良山も素晴らしいですね。故郷には、一年を通して雪に覆われている山がなかったので、晴れた暖か

い日に見る雪山は、特に美しく感じます。日本にはたくさん山や森林があるので、そこに行くのがとても楽しみです。田村を歩いてみると、農地にも興味を引かれます。どうやって土を耕し、苗を植え、手入れをし、収穫するのか。特に稲作は初めて見るので、収穫期が楽しみです。

田村で暮らしていると、よく故郷を思い出します。寂しくなる時もありですが、さまざまな美しいものを見聞する幸せを満喫する毎日です。

